

猫用屋外トイレの作り方

鳥取県中部総合事務所倉吉保健所生活安全課 動物担当

I 猫用屋外トイレ必要物品

1 プランターで作る場合（軒下等雨の掛からない場所に作成 図1、写真1参照）

- (1) プランター容器（なるべく広く浅いもの）
- (2) プランター用底網シート
- (3) 小石（水はけよくするため）



図1 プランタートイレ



写真1 プランタートイレ使用猫

2 雨ざらしの場所

- (1) ブロック、園芸用の柵、板、レンガ、大きな石等
（砂や土が周囲に流れないようにするため。図2～4参照、写真2）



図2 園芸用の柵で囲ったトイレ



図3 板で囲ったトイレ



図4 ブロックと塀で囲ったトイレ

3 いずれにも共通して用意するもの

- (1) 園芸用土（鹿沼土、赤玉土）
- (2) 砂
- (3) EM菌（園芸用、コンポスト用、消臭目的）
- (4) スプレー容器2個（EM菌、塩素系消毒剤希釈及び噴霧用）
- (5) マタタビの粉
- (6) スコップ
- (6) トング（糞を拾うため）
- (7) ポリ袋
- (8) 次亜塩素酸ナトリウム消毒薬（塩素系消毒剤、糞をしてもらいたくない場所に噴霧する）



写真2 石で囲ったトイレ

<図1～図4、写真2：NPOねこだすけHPより引用、写真1：すみだ地域ねこの会HPより引用>

II 猫用屋外トイレ作成手順

1 プランター式猫トイレの作り方

<用意するもの>

プランター、底網シート、小石、園芸用土、砂、マタタビ粉末、スコップ、消臭剤（EM菌）、希釈用スプレー

<手順>

- (1) プランターの底に底網シートを敷く。
- (2) その上に、水はけが良くなるよう、小石を敷き詰める。
- (3) その上に、園芸用の土を敷き詰める。
- (4) その上に、砂を土の表面を覆う位に敷き詰める。
- (5) その上に、マタタビの粉を少々ふりかける。
- (6) 他でした糞を持って来て、猫トイレに置く（初回のみ）。
- (7) 猫の通り道の目立たず、なるべく雨がかからない場所に置く。



図1 プランタートイレの概略図

2 公園、コンクリート、雨ざらしの場所でのトイレの作り方

<用意するもの>

園芸用土、砂、マタタビ粉末、スコップ、消臭剤（EM菌）、希釈用スプレー

<手順>

- (1) 下が地面であれば、ふかふかに掘り起こす（コンクリートの地面の場合は省略）。
- (2) 砂もしくは園芸用の土を敷く。
- (3) その上に、マタタビの粉を少々ふりかける。
- (4) トイレの土や砂が周りに流出しないように石などでトイレを囲う。
- (5) 他でした糞をもってきて、猫トイレに置く（初回のみ）。



写真1 屋外トイレ（プランター無し）

3 普段の猫屋外トイレの管理

- (1) 毎日、糞をとる。
- (2) 土を掘り返してフワフワにしておく。
- (3) 希釈したEM菌を掃除のあと土の表面が湿る程度にスプレーし土に混ぜる。

<図1：ねこてんHPより引用、写真1：NPOねこだすけHPより引用>